

平成24・25年度

第2回城東区民モニターアンケート結果

「人権・生涯学習等に関するアンケートについて」



城東区のマスコットキャラクター

平成25年3月

大阪市城東区役所

【1】調査の概要

1 調査の目的

今回のアンケートでは、下記項目について、区民のみなさまのご意見やニーズをお伺いし、今後の施策や事業の展開に活かしてまいります。

・人権の取組みについて

大阪市では、「人権尊重の社会づくり条例」に基づき、さまざまな人権問題の解決に向けて、人権問題に対する正しい理解と認識を深める取組みを行なっています。

城東区では「人権」について、「お互いの個性や価値観を認め合う」という人のつきあいの上で非常に大切なことと理解していただくため、昨年度から、各校下の小学校講堂で「人権学習会」を企画し、みなさまに気軽に足を運んでいただけるよう取り組んでいます。

・生涯学習の取組みについて

城東区では、平成18年3月に「城東区生涯学習推進計画」を策定し、区民のみなさまの生涯学習活動の推進を図っています。いつでも、どこでも、だれもが自らの意志と選択に基づき学習を实践でき、その成果が適切に活かされるよう、生涯学習活動を支援することを目的として、区内16全小学校に生涯学習ルームの開設や、生涯学習関連施設・社会教育団体・高等教育機関との連携など推進事業の実施に取り組んでいます。

学習活動を通じて生きる力を身につけ、自己実現を図ることを目的とし、さらには、習得した技術や知識をまちづくりに活かしていただければと考えています。

・城北川の取組みについて

城東区は、大阪城の東にあり、河川が多いのが特徴です。なかでも城北川は、桜並木の美しい遊歩道やリバーサイドテラスなどが整備され、国のモデル事業「ふるさとの川モデル河川」に指定されるなど、城東区の誇りとなる「まちの魅力資源」です。城北川一帯が「城東区が誇るランドマーク」となるように、区民の方々が作成された「アイラブ城北川プロジェクト（城北川アメニティゾーン化計画）」に基づいて、ドラゴンボート体験や城北川フェスティバルなど、さまざまな取組みも進めています。今後は、城東区における河川等の自然環境を活かし、住環境のより一層の向上を図り、地域への愛着を深めていただくため、城東ブランドの一つとして、城北川の魅力発信に取り組めます。

2 調査の実施状況

調査期間：平成24年11月20日～平成24年12月3日

方法：郵送及び電子申請アンケートシステム

対象：区民モニター登録者 797人

回答者数：677人（内訳：郵送 528人 電子申請 149人）

回答率：84.9%

3 区民モニター数及び回答者数

		区民モニター			回答者		
		男	女	計	男	女	計
計		317	480	797	265	412	677
年齢別	20歳代以下	18	37	55	12	27	39
	30歳代	49	102	151	36	73	109
	40歳代	51	104	155	41	92	133
	50歳代	50	66	116	44	62	106
	60歳以上	149	171	320	132	158	290

【2】調査結果の分析

人権の取組みについて

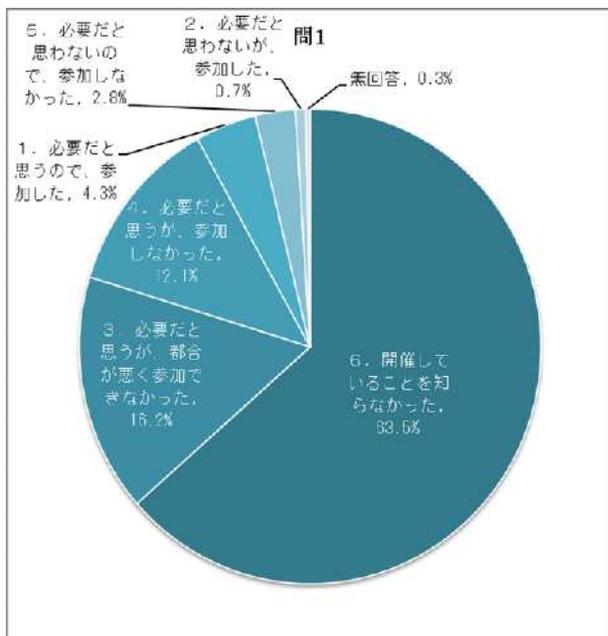
問1 城東区では、昨年度、区内16校下すべての小学校で講堂を会場に「人権学習会」を開催し、合計2,170名の方々にご参加いただきました。

あなたは、人権学習会に参加されましたか。 (1つ選んでください)

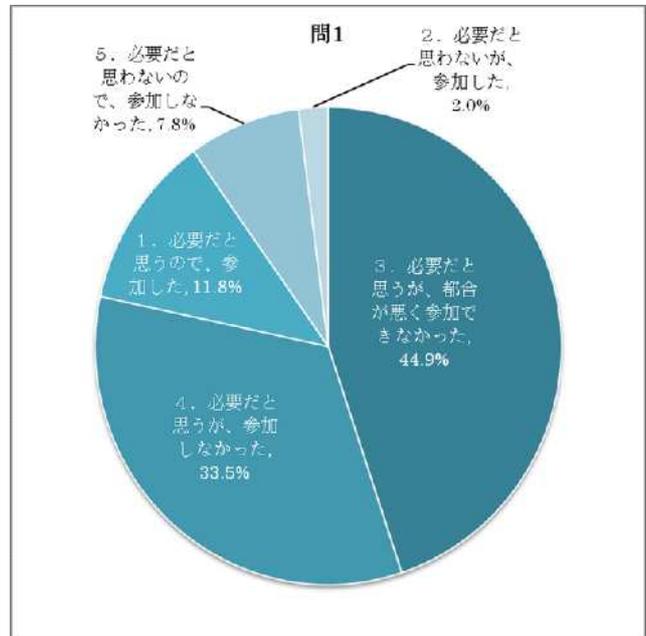
1. 必要だと思うので、参加した	4.3%	【29】
2. 必要だと思わないが、参加した	0.7%	【5】
3. 必要だと思うが、都合が悪く参加できなかった	16.2%	【110】
4. 必要だと思うが、参加しなかった	12.1%	【82】
5. 必要だと思わないので、参加しなかった	2.8%	【19】
6. 開催していることを知らなかった	63.5%	【430】
無回答	0.3%	【2】

n = 677

(グラフ1)



(グラフ2)



【分析・コメント】

人権学習会について、6割の方が「開催していることを知らなかった」(63.5%)ことがわかりました。(グラフ1参照)

次に、「開催していることを知らなかった」、「無回答」を除いた方に、人権学習会の必要性についてみると、9割の方が人権学習会の開催が「必要だと思う」ということがわかりました。

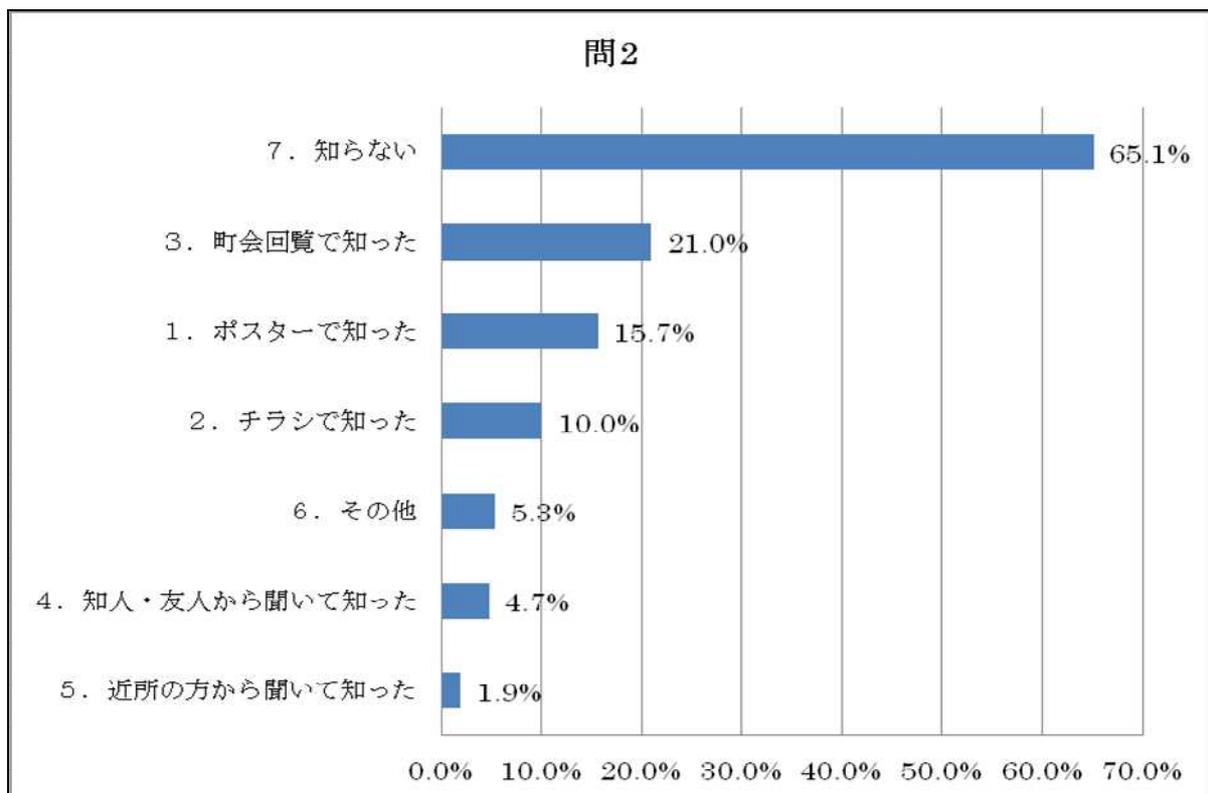
(グラフ2参照)

問2 . 人権学習会開催にあたり、ポスター、チラシ、町会回覧などでお知らせしましたが、ご存知でしたか。
(あてはまるものすべて選んでください)

1 .ポスターで知った	15.7%	【106】
2 .チラシで知った	10.0%	【68】
3 .町会回覧で知った	21.0%	【142】
4 .知人・友人から聞いて知った	4.7%	【32】
5 .近所の方から聞いて知った	1.9%	【13】
6 .その他	5.3%	【36】
7 .知らない	65.1%	【441】

n = 677

回答総数【838】



【分析・コメント】

人権学習会の周知方法についてたずねたところ、一番多かったのは「知らない」(65.1%)、次に「町会回覧で知った」(21.0%)、「ポスターで知った」(15.7%)が多い順となっています。

その他、年齢別でみると、「知らない」は20歳代以下、30歳代で高いことがわかりました。(20歳代以下 89.7%、30歳代 78.9%、40歳代 67.7%、50歳代 66.0%、60歳以上 55.2%)、また「町会回覧で知った」は20歳代以下、30歳代で低く、60歳以上で高いことがわかりました。(20歳代以下 5.1%、30歳代 8.3%、40歳代 12.8%、50歳代 20.8%、60歳以上 31.7%)

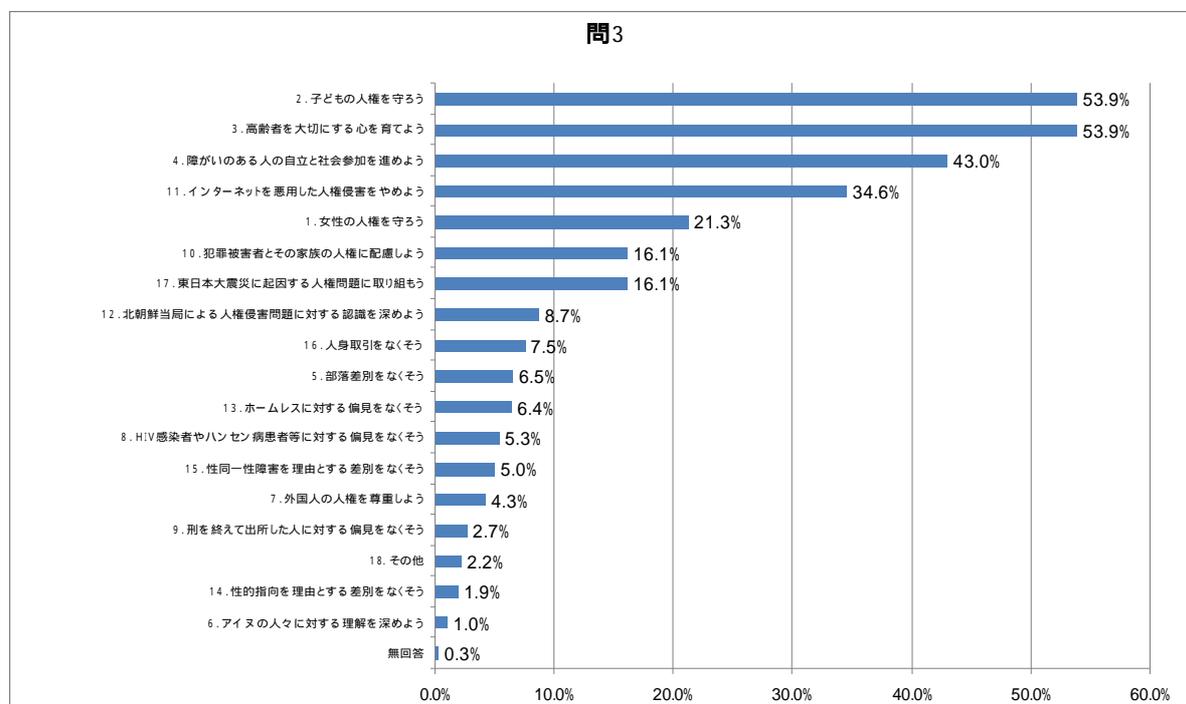
「その他」(5.3%)では、「町会、女性会で聞いた」、「学校のお知らせで知った」などがあがっています。

問3 城東区が今後、力を入れるべきだと思われる人権啓発の取組み()はどれですか。

(3つ選んでください)

1. 女性の人権を守ろう	21.3%	【144】
2. 子どもの人権を守ろう	53.9%	【365】
3. 高齢者を大切に作る心を育てよう	53.9%	【365】
4. 障がいのある人の自立と社会参加を進めよう	43.0%	【291】
5. 部落差別をなくそう	6.5%	【44】
6. アイヌの人々に対する理解を深めよう	1.0%	【7】
7. 外国人の人権を尊重しよう	4.3%	【29】
8. HIV感染者やハンセン病患者等に対する偏見をなくそう	5.3%	【36】
9. 刑を終えて出所した人に対する偏見をなくそう	2.7%	【18】
10. 犯罪被害者とその家族の人権に配慮しよう	16.1%	【109】
11. インターネットを悪用した人権侵害をやめよう	34.6%	【234】
12. 北朝鮮当局による人権侵害問題に対する認識を深めよう	8.7%	【59】
13. ホームレスに対する偏見をなくそう	6.4%	【43】
14. 性的指向を理由とする差別をなくそう	1.9%	【13】
15. 性同一性障害を理由とする差別をなくそう	5.0%	【34】
16. 人身取引をなくそう	7.5%	【51】
17. 東日本大震災に起因する人権問題に取り組もう	16.1%	【109】
18. その他	2.2%	【15】
無回答	0.3%	【2】

n = 677 回答総数【1,968】



【分析・コメント】

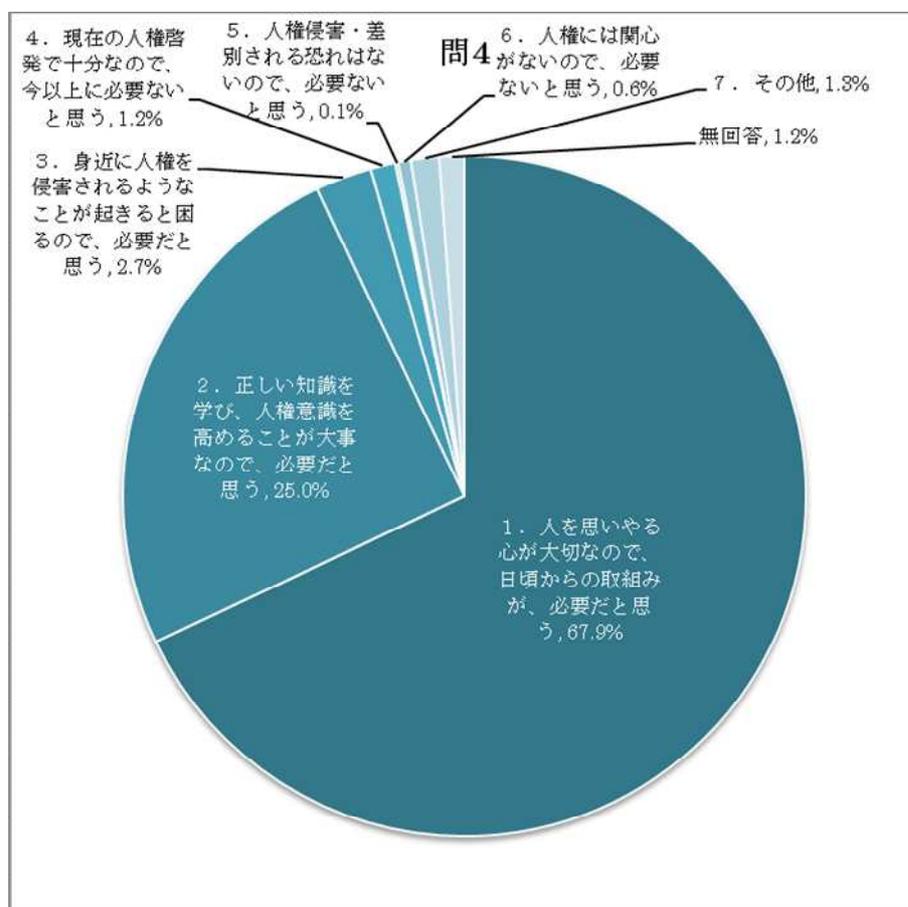
城東区が今後、力を入れるべきだと思われる人権啓発の取組みについてたずねたところ、一番多かったのは「子どもの人権を守ろう」(53.9%)、「高齢者を大切に作る心を育てよう」(53.9%)次に「障がいのある人の自立と社会参加を進めよう」(43.0%)、「インターネットを悪用した人権侵害をやめよう」(34.6%)が多い順となっています。

「その他」(2.2%)では、「すべて必要な取組みだと思うが、城東区内での人権侵害・差別事象の多い項目」などがあがっています。

問4．人権についてのさまざまな課題のうち、城東区では「子どもの人権をまもる」ことにも力を入れてきました。今後も「いじめ」や「虐待」など、人権侵害をなくすための取組みは必要だと思いますか。
(1つ選んでください)

1．人を思いやる心が大切なので、日頃からの取組みが、必要だと思う	67.9%	【460】
2．正しい知識を学び、人権意識を高めることが大事なので、必要だと思う	25.0%	【169】
3．身近に人権を侵害されるようなことが起きると困るので、必要だと思う	2.7%	【18】
4．現在の人権啓発で十分なので、今以上に必要ないと思う	1.2%	【8】
5．人権侵害・差別される恐れはないので、必要ないと思う	0.1%	【1】
6．人権には関心がないので、必要ないと思う	0.6%	【4】
7．その他	1.3%	【9】
無回答	1.2%	【8】

n = 677



【分析・コメント】

今後も「いじめ」や「虐待」など、人権侵害をなくすための取組みは必要だと思いますかとたずねたところ、「人を思いやる心が大切なので、日頃からの取組みが、必要だと思う」(67.9%)、「正しい知識を学び、人権意識を高めることが大事なので、必要だと思う」(25.0%)、「身近に人権を侵害されるようなことが起きると困るので、必要だと思う」(2.7%)をあわせた9割以上の方は『必要だと思う』ということがわかりました。

「その他」(1.3%)では、「見過ごさない、見て見ぬふりをしない事」、「虐待される方の保護は進んだと思うが、する方の更生プログラムやケアは全く取組まれてなく、ここを直さないと虐待は減らない」などがあがっています。

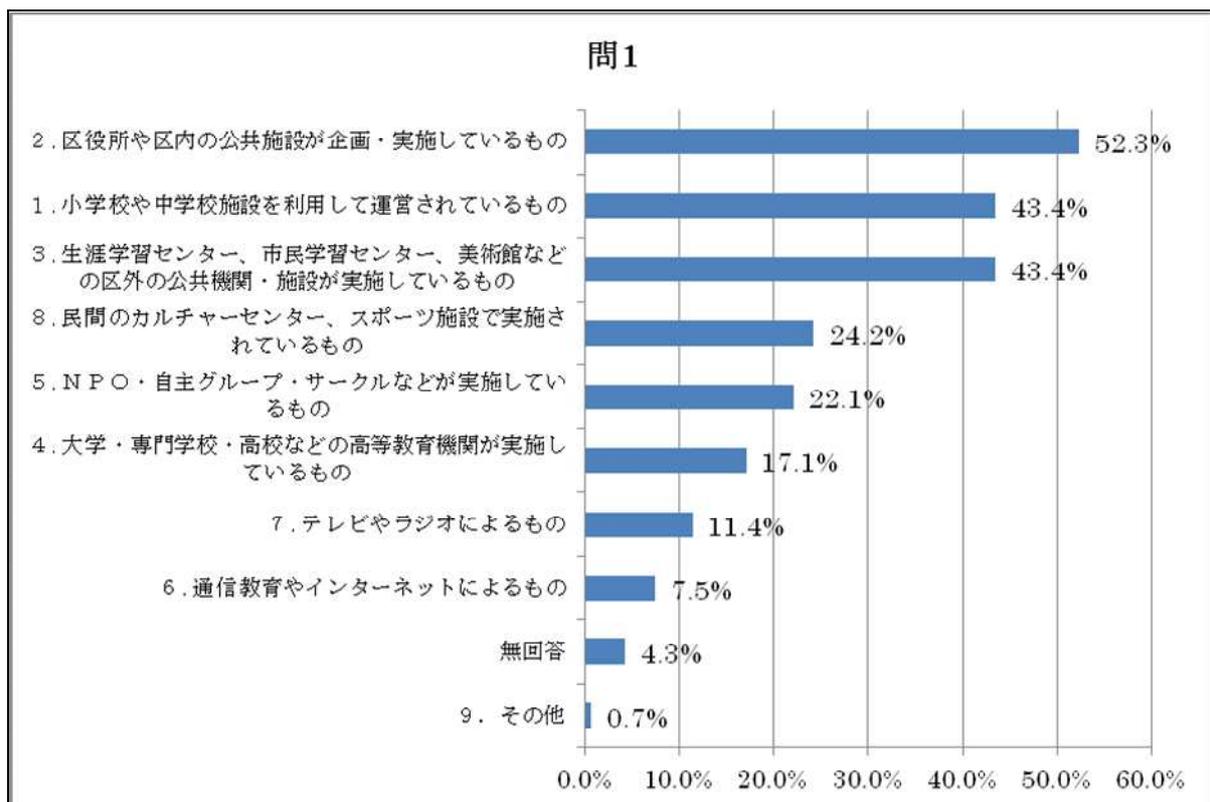
生涯学習の取組みについて

問1. これまでに、生涯学習に関する講座やイベントに参加された経験がある方におたずねします。参加したことがある(または、現在も参加している)講座、事業、イベントなどの種類や方法をすべてお選びください。(あてはまるものすべてを選んでください)

1. 小学校や中学校施設を利用して運営されているもの・・・	43.4%	【122】
2. 区役所や区内の公共施設が企画・実施しているもの・・・	52.3%	【147】
3. 生涯学習センター、市民学習センター、美術館などの区外の公共機関・施設が実施しているもの	43.4%	【122】
4. 大学・専門学校・高校などの高等教育機関が実施しているもの	17.1%	【48】
5. NPO・自主グループ・サークルなどが実施しているもの	22.1%	【62】
6. 通信教育やインターネットによるもの	7.5%	【21】
7. テレビやラジオによるもの	11.4%	【32】
8. 民間のカルチャーセンター、スポーツ施設で実施されているもの	24.2%	【68】
9. その他	0.7%	【2】
無回答	4.3%	【12】

n = 281

回答総数【636】



【分析・コメント】

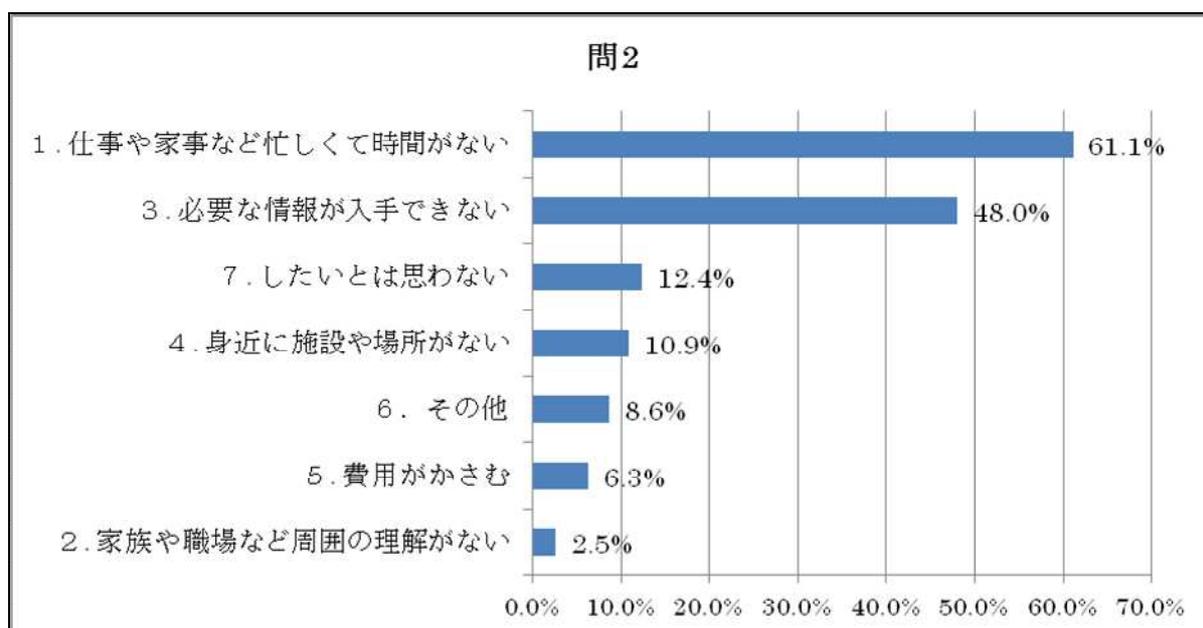
参加したことがある(または、現在も参加している)講座、事業、イベントなどの種類や方法についてたずねたところ、一番多かったのは「区役所や区内の公共施設が企画・実施しているもの」(52.3%)、次に「小学校や中学校施設を利用して運営されているもの」(43.4%)、「生涯学習センター、市民学習センター、美術館などの区外の公共機関・施設が実施しているもの」(43.4%)が多い順となっていました。

問2 . これまでに、生涯学習に関する講座やイベントに参加したことがない方におたずねします。 参加していない理由をお選びください。(あてはまるものすべて選んでください)

1. 仕事や家事など忙しくて時間がない	61.1%	【242】
2. 家族や職場など周囲の理解がない	2.5%	【10】
3. 必要な情報が入手できない	48.0%	【190】
4. 身近に施設や場所がない	10.9%	【43】
5. 費用がかさむ	6.3%	【25】
6. その他	8.6%	【34】
7. したいとは思わない	12.4%	【49】

n = 396

回答総数【593】



【分析・コメント】

参加していない理由についてたずねたところ、一番多かったのは「仕事や家事など忙しくて時間がない」(61.1%)、「必要な情報が入手できない」(48.0%)が多い順となっていました。

「その他」(8.6%)では、「してみたいと思う講座がない」、「土日の開催がない、少ない」、「講座やイベントがある事すら知らない」などがあがっています。

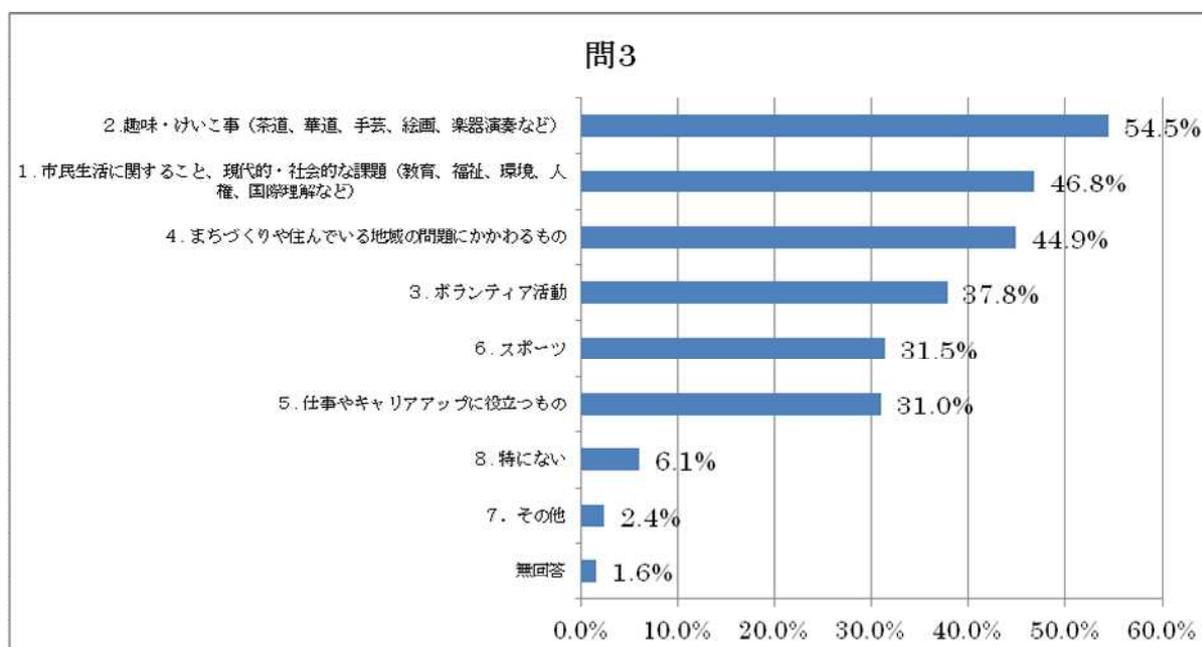
年代別でみると、「仕事や家事など忙しくて時間がない」では30歳代、40歳代、50歳代で高く、20歳代以下、60歳以上では低いことがわかりました。(20歳代 46.9%、30歳代 77.9%、40歳代 74.7%、50歳代 74.6%、60歳以上 41.1%)

問3 .これから新たに、あるいは引き続いてしたい学習や活動の分野にはどのようなものがありますか。
(3つ選んでください)

1. 市民生活に関すること、現代的・社会的な課題(教育、福祉、環境、人権、国際理解など)	46.8%	【317】
2. 趣味・けいこ事(茶道、華道、手芸、絵画、楽器演奏など)	54.5%	【369】
3. ボランティア活動	37.8%	【256】
4. まちづくりや住んでいる地域の問題にかかわるもの	44.9%	【304】
5. 仕事やキャリアアップに役立つもの	31.0%	【210】
6. スポーツ	31.5%	【213】
7. その他	2.4%	【16】
8. 特にない	6.1%	【41】
無回答	1.6%	【11】

n = 677

回答総数【1,737】



【分析・コメント】

これから新たに、あるいは引き続いてしたい学習や活動の分野にはどのようなものがありますかとたずねたところ、一番多かったのは「趣味・けいこ事(茶道、華道、手芸、絵画、楽器演奏など)」(54.5%)、次に「市民生活に関すること、現代的・社会的な課題(教育、福祉、環境、人権、国際理解など)」(46.8%)、「まちづくりや住んでいる地域の問題にかかわるもの」(44.9%)、「ボランティア活動」(37.8%)が多い順番となっています。

性別で見ると、「趣味・けいこ事(茶道、華道、手芸、絵画、楽器演奏など)」では女性では高く、男性で低いことがわかりました。(女性 64.3%、男性 39.2%)

年齢別で見ると、「趣味・けいこ事(茶道、華道、手芸、絵画、楽器演奏など)」では30歳代、40歳代で高いことがわかりました。(20歳代以下 59.0%、30歳代 70.6%、40歳代 64.7%、50歳代 50.0%、60歳以上 44.8%)

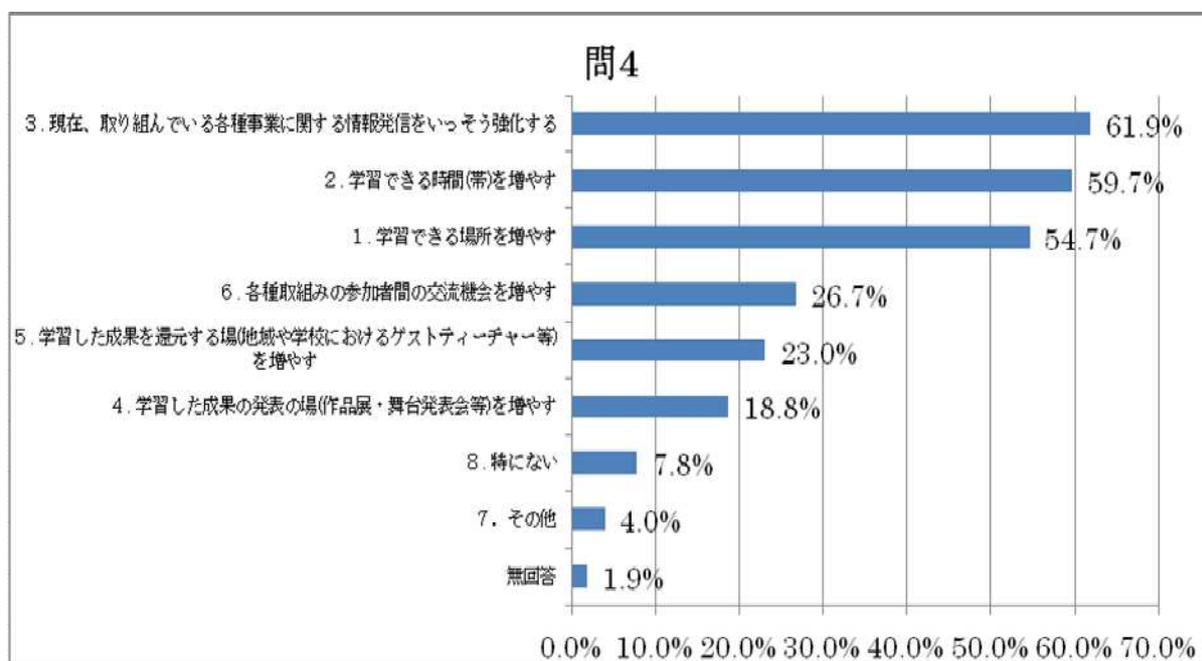
問4．今後の生涯学習事業に関して、どのような形で進めていくべきだと思いますか。

(3つ選んでください)

1. 学習できる場所を増やす	54.7%	【370】
2. 学習できる時間(帯)を増やす	59.7%	【404】
3. 現在、取り組んでいる各種事業に関する情報発信をいっそう強化する	61.9%	【419】
4. 学習した成果の発表の場(作品展・舞台発表会等)を増やす	18.8%	【127】
5. 学習した成果を還元する場(地域や学校におけるゲストティーチャー等)を増やす	23.0%	【156】
6. 各種取組みの参加者間の交流機会を増やす	26.7%	【181】
7. その他	4.0%	【27】
8. 特にない	7.8%	【53】
無回答	1.9%	【13】

n = 677

回答総数【1,750】



【分析・コメント】

今後の生涯学習事業に関して、どのような形で進めていくべきだと思いますかとたずねたところ、一番多かったのは「現在、取り組んでいる各種事業に関する情報発信をいっそう強化する(61.9%)」「学習できる時間(帯)を増やす(59.7%)」「学習できる場所を増やす(54.7%)」が多い順番となっています。

「その他」(4.0%)では、「高齢者も参加しやすいムードづくり」、「高齢者向けのものだけでなく、若い人が参加できる事業を増やしてほしい」、「取り組んでいる事業の結果を教えてほしい」、「保育付きを増やす」などがあがっています。

年齢別でみると、20歳代以下では、「現在、取り組んでいる各種事業に関する情報発信をいっそう強化する」で高く(20歳代以下 76.9%、30歳代 60.6%、40歳代 65.4%、50歳代 60.4%、60歳以上 59.3%)、30歳代、40歳代では、「学習できる時間(帯)を増やす」で高く(20歳代以下 76.9%、30歳代 60.6%、40歳代 65.4%、50歳代 60.4%、60歳以上 59.3%)、(20歳代以下 75.0%、30歳代 64.9%、40歳代 51.8%、50歳代 56.5%、60歳以上 64.1%)

城北川の取組みについて

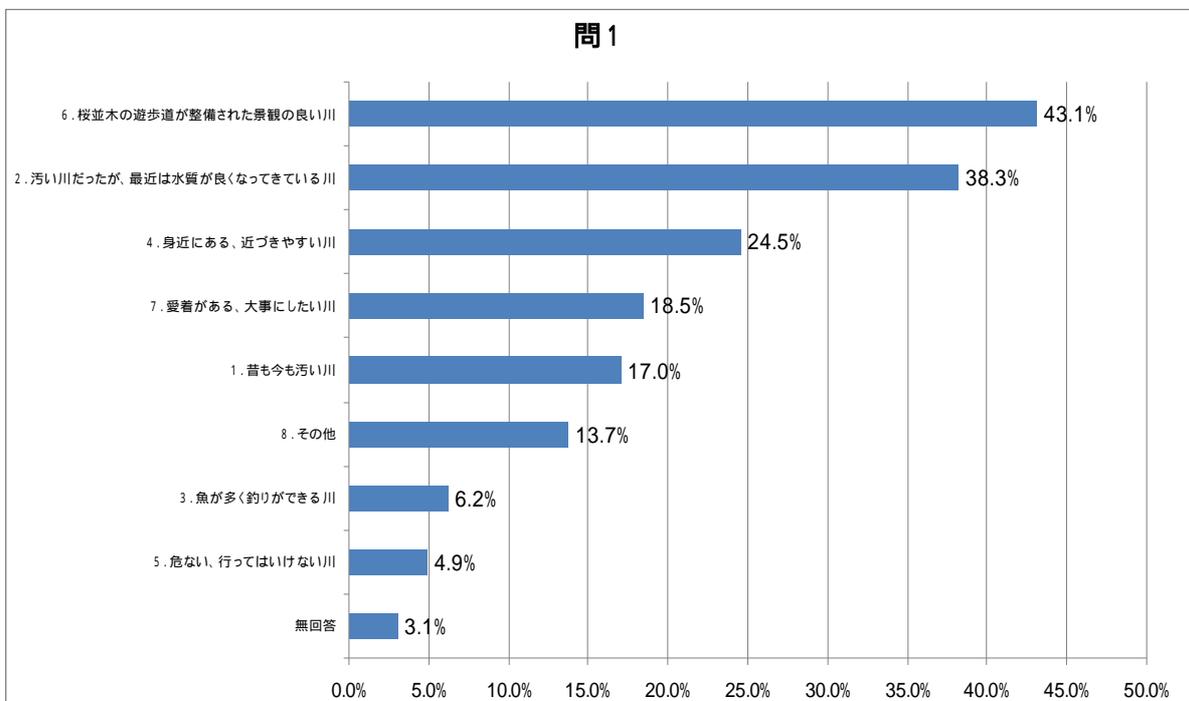
問1 城北川についてのイメージのうち、感じておられることをお選びください。

(2つまで選んでください)

1.昔も今も汚い川	17.0%	【115】
2.汚い川だったが、最近の水質が良くなってきている川	38.3%	【259】
3.魚が多く釣りができる川	6.2%	【42】
4.身近にある、近づきやすい川	24.5%	【166】
5.危ない、行ってはいけない川	4.9%	【33】
6.桜並木の遊歩道が整備された景観の良い川	43.1%	【292】
7.愛着がある、大事にしたい川	18.5%	【125】
8.その他	13.7%	【93】
無回答	3.1%	【21】

n = 677

回答総数【1,146】



【分析・コメント】

城北川についてのイメージのうち、一番多かったのは「桜並木の遊歩道が整備された景観の良い川」(43.1%)、「汚い川だったが、最近の水質が良くなってきている川」(38.3%)、「身近にある、近づきやすい川」(24.5%)が多い順番となっています。

「その他」(13.7%)では、「城北川の場合が分からない」、「行ったことがない」などがあがっています。

年齢別で見ると、20歳代以下、30歳代では「昔も今も汚い川」で高く(20歳代以下 30.8%、30歳代 36.7%、40歳代 18.8%、50歳代 15.1%、60歳以上 7.6%)、逆に60歳以上では「汚い川だったが、最近の水質が良くなってきている川」で高い(20歳代以下 28.2%、30歳代 14.7%、40歳代 33.8%、50歳代 41.5%、60歳以上 49.3%)ことがわかりました。

城北川について場所なども知らない人が約1割以上いることや、特に30歳代以下の比較的若い世代の人たちは「今も汚い川」であると感じている割合が高いことがわかりました。

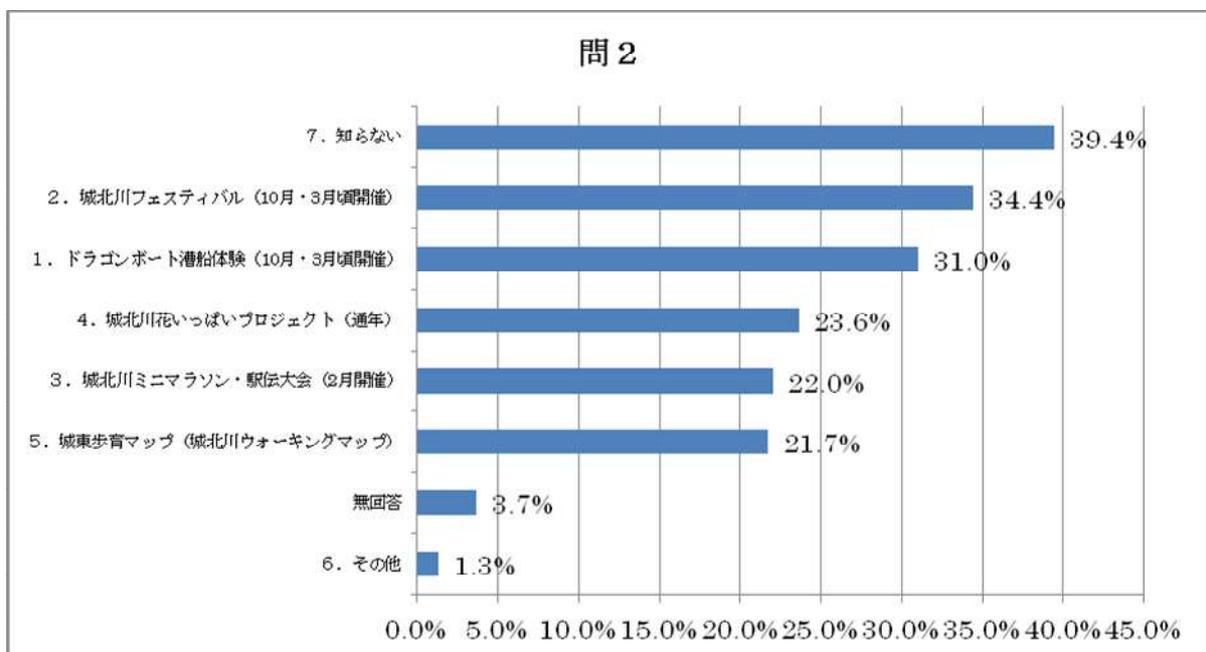
問2 城北川で進めている取組みのうち、知っているものをお選びください。

(あてはまるものすべてを選んでください)

1. ドラゴンボート漕船体験(10月・3月頃開催)	31.0%	【210】
2. 城北川フェスティバル(10月・3月頃開催)	34.4%	【233】
3. 城北川ミニマラソン・駅伝大会(2月開催)	22.0%	【149】
4. 城北川花いっぱいプロジェクト(通年)	23.6%	【160】
5. 城東歩育マップ(城北川ウォーキングマップ)	21.7%	【147】
6. その他	1.3%	【9】
7. 知らない	39.4%	【267】
無回答	3.7%	【25】

n = 677

回答総数【1,200】



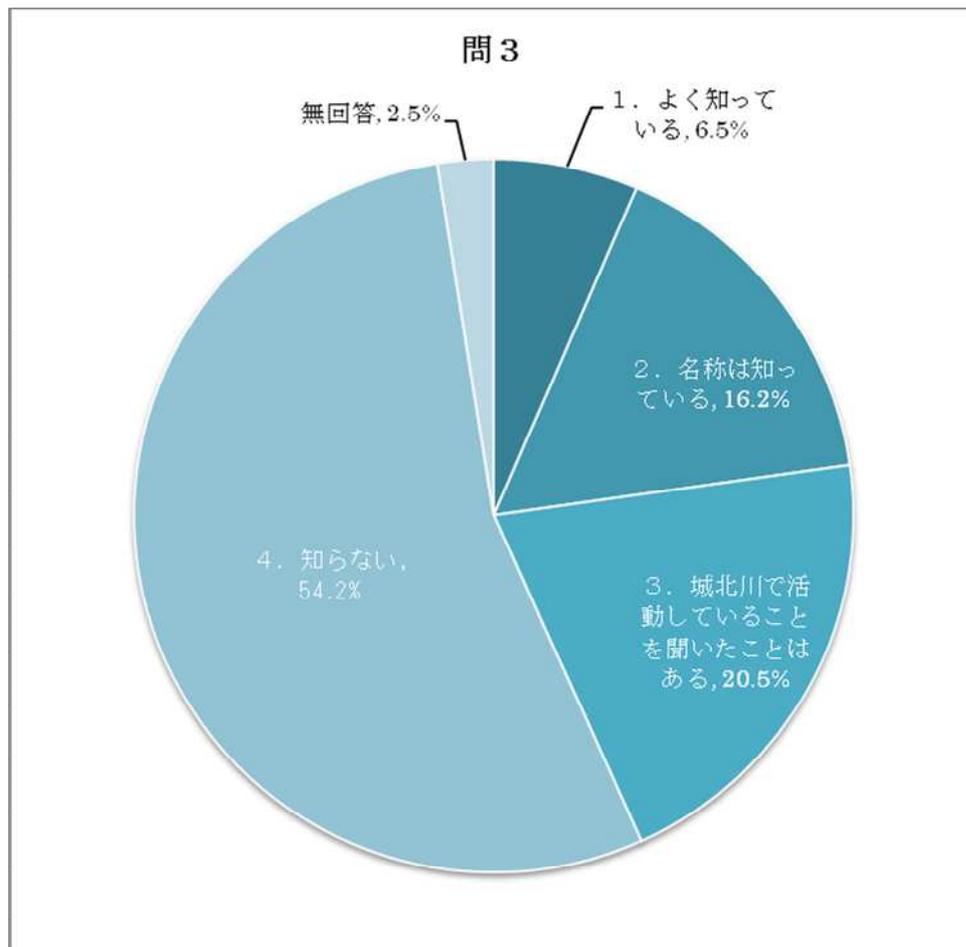
【分析・コメント】

城北川で進めている取組みのうち、知っているものをたずねたところ、一番多かったのは「知らない」(39.4%)、次に「城北川フェスティバル(10月・3月頃開催)」(34.4%)、「ドラゴンボート漕船体験(10月・3月頃開催)」(31.0%)が多い順番となっています。

問3 問2のような城北川での取組み(「アイラブ城北川プロジェクト」)の名称や活動を知っていますか。(1つ選んでください)

1.よく知っている	6.5%	【44】
2.名称は知っている	16.2%	【110】
3.城北川で活動していることを聞いたことはある	20.5%	【139】
4.知らない	54.2%	【367】
無回答	2.5%	【17】

n = 677

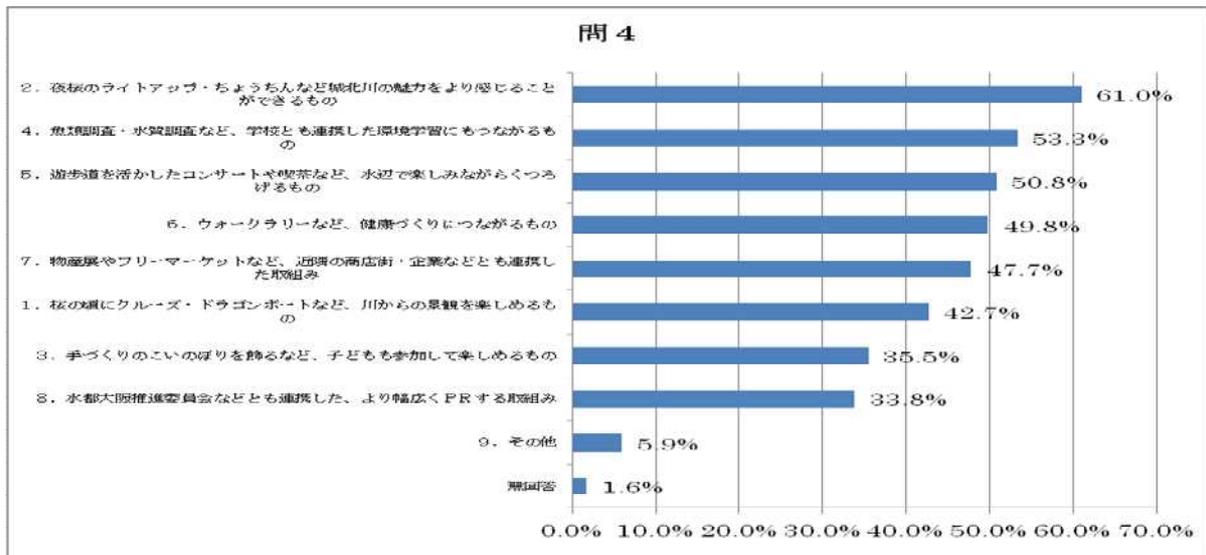


【分析・コメント】

問2のような城北川での取組み(「アイラブ城北川プロジェクト」)の名称や活動を知っていますかとたずねたところ、5割の方は「知らない」(54.2%)、2割の方は「城北川で活動していることを聞いたことはある」(20.5%)、1割強の方は「名称は知っている」(16.2%)となっています。

問4 城北川沿いの催しや取組みについて、今後取り組んだらよいと思うものを、お選びください。
(あてはまるものすべて選んでください)

- | | |
|--|------------|
| 1. 桜の頃にクルーズ・ドラゴンボートなど、川からの景観を楽しめるもの | 42.7%【289】 |
| 2. 夜桜のライトアップ・ちょうちんなど城北川の魅力をより感じることができるもの | 61.0%【413】 |
| 3. 手づくりのこいのぼりを飾るなど、子どもも参加して楽しめるもの | 35.5%【240】 |
| 4. 魚類調査・水質調査など、学校とも連携した環境学習にもつながるもの | 53.3%【361】 |
| 5. 遊歩道を活かしたコンサートや喫茶など、水辺で楽しみながらくつろげるもの | 50.8%【344】 |
| 6. ウォークラリーなど、健康づくりにつながるもの | 49.8%【337】 |
| 7. 物産展やフリーマーケットなど、近隣の商店街・企業などとも連携した取組み | 47.7%【323】 |
| 8. 水都大阪推進委員会などとも連携した、より幅広くPRする取組み | 33.8%【229】 |
| 9. その他 | 5.9%【40】 |
| 無回答 | 1.6%【11】 |
- n = 677 回答総数【2,587】



【分析・コメント】

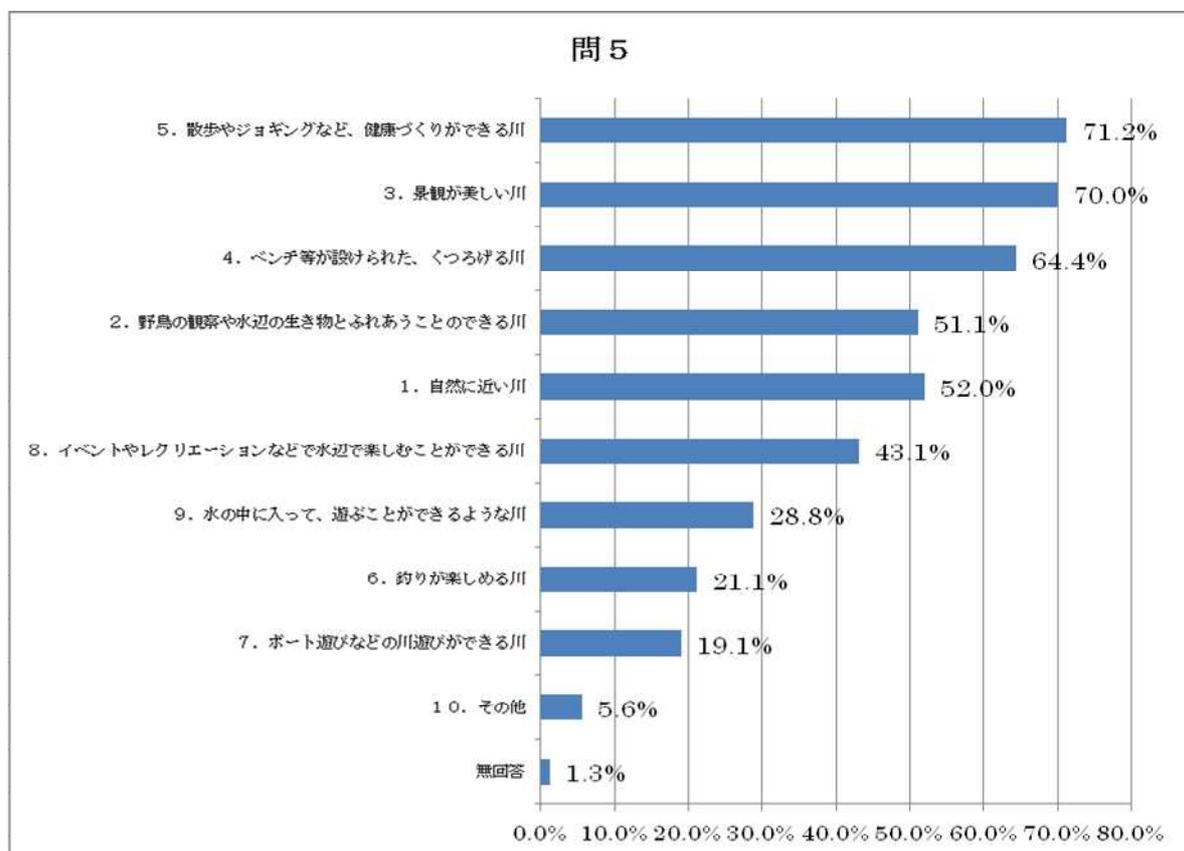
城北川沿いの催しや取組みについて、今後取り組んだらよいと思うものについてたずねたところ、一番多かったのは「夜桜のライトアップ・ちょうちんなど城北川の魅力をより感じることができるもの」(61.0%)、次に「魚類調査・水質調査など、学校とも連携した環境学習にもつながるもの」(53.3%)、「遊歩道を活かしたコンサートや喫茶など、水辺で楽しみながらくつろげるもの」(50.8%)、「ウォークラリーなど、健康づくりにつながるもの」(49.8%)が多い順となっています。

その他(5.9%)では、「イベント広場等の設置と定期的なイベント開催」、「災害時の川の活用。物資輸送のシュミレーションや避難訓練の実施」、「水上バスの運行(観光ではなく通行用など市民の足として)」、「水質を改善してほしい」、「夜間暗いので街灯の設置」、「犬の散歩など飼い主のマナーの強化」、「川の水を浄化してアユが住める川にするプロジェクトをつくる」、「様々な淡水魚の放流」、「安全に魚釣りができる場所をつくってもらう」、「城北川沿いにおしゃれなレストランなどの誘致」などがあがっています。

問5 城北川（遊歩道などを含む）に望む将来像について、どのようなことを望ましいと思うものを、お選びください。（あてはまるものすべて選んでください）

1 .自然に近い川	52.0%	【352】
2 .野鳥の観察や水辺の生き物とふれあうことのできる川	51.1%	【346】
3 .景観が美しい川	70.0%	【474】
4 .ベンチ等が設けられた、くつろげる川	64.4%	【436】
5 .散歩やジョギングなど、健康づくりができる川	71.2%	【482】
6 .釣りが楽しめる川	21.1%	【143】
7 .ボート遊びなどの川遊びができる川	19.1%	【129】
8 .イベントやレクリエーションなどで水辺で楽しむことができる川	43.1%	【292】
9 .水の中に入って、遊ぶことのできるような川	28.8%	【195】
10 .その他	5.6%	【38】
無回答	1.3%	【9】

n = 677 回答総数【2,896】



【分析・コメント】

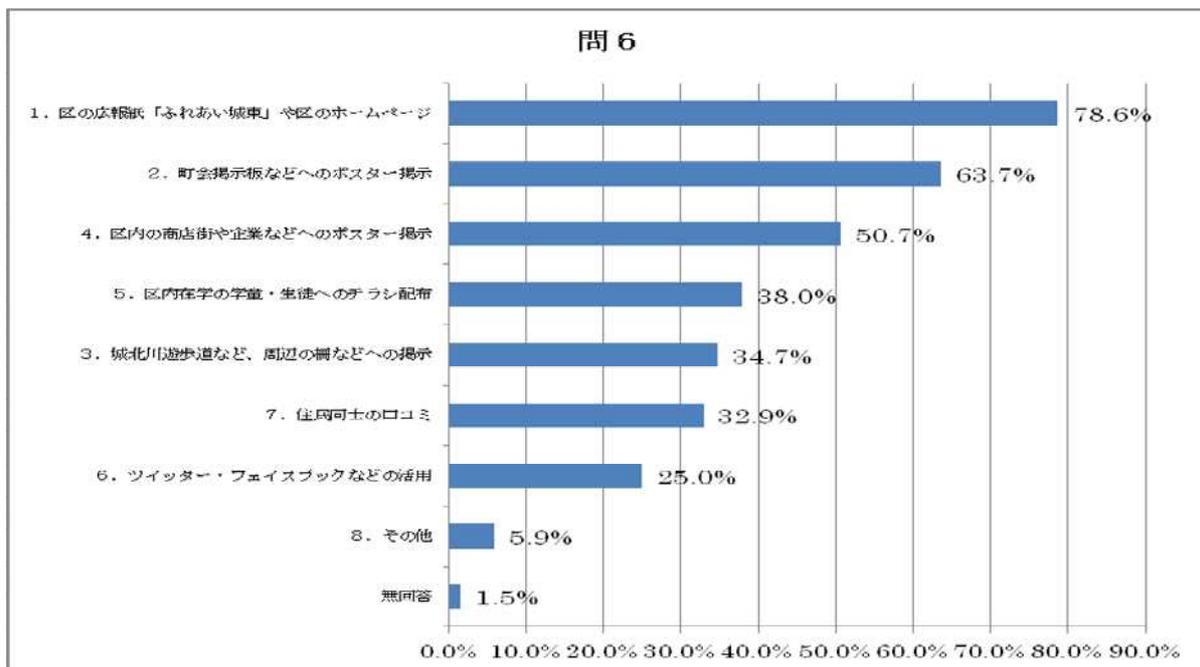
城北川（遊歩道などを含む）に望む将来像について望ましいと思うものについてたずねたところ、一番多かったのは「散歩やジョギングなど、健康づくりができる川」（71.2%）、次に「景観が美しい川」（70.0%）、「ベンチ等が設けられた、くつろげる川」（64.4%）、「自然に近い川」（52.0%）が多い順番となっています。

その他（5.6%）では、「虫が成育できる川」、「どじょう、めだか、ふな、うなぎ等、川魚を増やしてください」、「津波の対策がしっかりしている安心な川」、「自然に近い川である為の清掃活動」、「夜間でも安全に歩ける遊歩道にする」、「川にごみを捨てない、遊歩道に犬のフンを放置しない等マナー意識の向上を図る」、「トイレの整備」などがあがっています。

問6 城東区ブランドの一つとして、城北川など、まちの魅力発信をよりいっそう進めるために有効だと思うものをお選びください。（あてはまるものすべて選んでください）

1. 区の広報紙「ふれあい城東」や区のホームページ	78.6%	【532】
2. 町会掲示板などへのポスター掲示	63.7%	【431】
3. 城北川遊歩道など、周辺の柵などへの掲示	34.7%	【235】
4. 区内の商店街や企業などへのポスター掲示	50.7%	【343】
5. 区内在学の学童・生徒へのチラシ配布	38.0%	【257】
6. ツイッター・フェイスブックなどの活用	25.0%	【169】
7. 住民同士の口コミ	32.9%	【223】
8. その他	5.9%	【40】
無回答	1.5%	【10】

n = 677 回答総数【2,240】



【分析・コメント】

城東区ブランドの一つとして、城北川など、まちの魅力発信をよりいっそう進めるために有効だと思うものについてたずねたところ、一番多かったのは「区の広報紙「ふれあい城東」や区のホームページ」（78.6%）、次に「町会掲示板などへのポスター掲示」（63.7%）、「区内の商店街や企業などへのポスター掲示」（50.7%）が多い順番となっています。

その他（5.9%）では、「地下鉄・駅構内へのポスター掲示やチラシの配布」、「テレビの取材を受ける」、「イベント開催時に大型の看板等の設置」、「区のキャラクターを活用する」、「スーパー、コンビニ」、「病院の待合室」などがあがっています。

- 1：法務省は毎年12月4日から10日までを「人権週間」と定めており、大阪市においても各種の啓発活動を実施しています。問3の各項目は「第64回人権週間実施要領」中の「強調事項」を挙げています。
- 2：生涯学習ルーム、はぐくみネット事業、学校体育施設開放事業など
- 3：区内の生涯学習関連施設として、城東区民ホール、城東区老人福祉センター、城東区子ども・子育てプラザ、城東図書館、クレオ大阪東、城東スポーツセンター、城東区在宅サービスセンター「ゆうゆう」、区役所と連携しながら様々な事業を実施しています。

【3】調査結果を受けて

・人権の取組みについて

調査結果を受けて人権学習会の開催について、6割の方が「開催していることを知らなかった」(63.5%)と答えておられます。これまでから周知方法が課題と考え、官公署・町会掲示板へのポスター掲示やチラシの町会回覧、各種団体への案内にくわえ、区広報紙・ホームページへ開催案内を掲載、また各小学校保護者へのチラシ配布などして、周知方法について工夫を重ねてまいりましたが、とりわけ20歳代以下と30歳代に知らなかったと答えた方が多いことなど、さらに検討してまいります。

また、「今後、力を入れるべきだと思われる人権啓発の取組み」について、特に多い「子どもの人権を守ろう」「高齢者を大切にしよう」「障がいのある人の自立と社会参加を進めよう」「インターネットを悪用した人権侵害をやめよう」をテーマにした啓発活動を強めてまいります。

・生涯学習の取組みについて

区民モニターの結果を受けて、多様な区民ニーズへの対応を念頭に、区における生涯学習推進に関し、情報提供・相談体制の充実を図るとともに、学習機会の多様化が求められていると考えます。

現在、区内で活躍されている生涯学習推進員、区内小学校生涯学習ルーム運営委員会、各生涯学習関連施設等との連携も更に密にし、市民感覚にあった事業展開を図ってまいります。

区役所側と区民側の協力関係に基づき「身近な学びの場」の提供を確保し続ける事により、生涯学習が、更なるコミュニティ・地域社会づくりにもつながっていくと考えます。

・城北川の取組みについて

城北川の「場所が分からない」等の回答が13%以上、城北川でのとりくみ(アイラブ城北川プロジェクト)を「知らない」という回答が5割以上あり、特に30歳以下の比較的若い世代のうち「昔も今も汚い川」と考えている人が3割以上おられました。

城北川では、昭和46年から二つの水門操作を行い、大川の水を導き入れることにより、水質は大幅に改善され、平成20年度には幅広い区民の参画を得て「城北川アメニティゾーン化計画(アイラブ城北川プロジェクト)」を策定し、城北川が「区民がいつでも憩い、集い、楽しいと感じる親水エリア」となるように、「城北川フェスティバル」や「ドラゴンボート体験」などの様々な取組みを、区民協働で進めてきました。

今後は城北川ブランド化を進めるために、区民モニターの皆さまからのご意見も踏まえ、皆さまに愛される魅力的な取組みを実行し、その周知・PRに努めてまいります。

参考：各設問のnについては、回答対象者、【 】については回答数です。

数値(%)は、各実数をもとに比例表示し、小数第2位を四捨五入しているため内訳の合計が全体の計に一致しないことがあります。

年齢については、平成24年4月1日を基準としています。

担当 城東区役所総務課
電話 06-6930-9683